

民主化闘争情報

No. 823
2011年5月9日
発行 日本鉄道労働組合連合会
(JR連合)

4月に九州地区本部で日貨労から青年2名の加入を勝ちとった貨物鉄産労が、5月に入って、今度は東海地区本部で再び組織拡大を果たした。2011年度は貨物鉄産労の飛躍の年だ！

貨物鉄産労に日貨労から38歳運転士が加入！ —2011年度は貨物鉄産労の飛躍の年だ！—

貨物鉄産労は、4月に九州地区本部で日貨労から21歳と28歳の青年の加入を勝ちとったばかりだが、5月9日、東海地区本部で再び組織拡大を果たした。今回、日貨労と決別し、貨物鉄産労に加入したのは、静岡総合鉄道部に勤務する38歳の運転士だ。静岡総鉄では、昨年3月に23歳の運転士が日貨労を脱退し、貨物鉄産労に加入しているが、それに続く成果となった。

貨物鉄産労の組織拡大の取り組みは、新年度に入り、勢いを増してきた。貨物鉄産労本部は、7月の定期大会までに確認した組織拡大目標を達成するために、「働きかけを強めれば組織拡大はできる。全国の地区本部は九州、東海に続け！」と号令をかけている。JR貨物は、本年度末に期限切れを迎える税制特例措置などの延長・恒久化問題が当面の最重要課題となっている。JR貨物に働く仲間の労働条件の向上と雇用・生活を守ることができるのはJR連合・貨物鉄産労の力のみである。

JR東日本ユニオン仙台地本委員長が全国の仲間へ御礼！

JR連合は、3月11日の東日本大震災の発生以降、被災地組合員に対して、各単組の協力を得ながら支援行動に取り組んできた。この度、JR東日本ユニオン仙台地本鈴木委員長より、以下の御礼状が寄せられたので紹介する。

この度は、当地方本部に対しまして早々に心温まるご支援お見舞いと力強い激励のお言葉を賜り、誠にありがとうございました。役員・組合員一同、感激しております。お陰様で業務中にもかかわらず、史上最大級の大津波の被災地から無事生還した組合員をはじめ、被災各地の組合員と家族の安否を無事確認することが出来ました。

鉄道設備をはじめ、自宅家屋や家財に甚大な被害を受けていながら、組合員やお客様への人的被害をほとんど出さずにすんだことに、組合組織としても社員としても感謝するとともに、鉄道マンとして誇りに思います。

現在、ライフラインもほぼ復旧してきているところであり、公共交通機関としての鉄道の運転再開に向けて、会社とともに多くの復旧作業員と作業を続けております。少しずつではありますが、鉄道の運転再開とともに地域生活も復興に向けて進んでおります。

今回、仲間のみなさんからの励ましを大きな力、そして心の糧として、役員・組合員一同一丸となって、一日も早い復旧に取り組んでまいり所存でありますので、今後ともよろしく願い申し上げます。

取り急ぎ、お見舞いへの御礼とさせていただきます。

